

以前は、宇治おうばく病院に近かったため、病院との繋がりが持てるようなサポートを求められること

利用者層の変化



キッチン



リニューアルした
「生活訓練いろは」



休憩室



面談室



お問合せ
ご相談

関心をもたれた方はお気軽にご連絡ください。
tel. 0774-74-8900

〒611-001 宇治市六地藏奈良町 56 番地 ヤマムラビル 1 階 B 号

がよくありました。移転によって病院から距離が離れたこともあり、ひきこもりの方や今まで福祉サービスを利用したことのない方の依頼が増えました。特に、「相談支援事業所おうばく」と一緒に移転することになったこともあり、そこからの相談も増えています。なかなか外に出られない人や社会との繋がりが薄かった人のニーズに対応できるような変化が求められていると言えます。

「いろは」の特徴としての訪問支援

「いろは」は通所支援と訪問支援のどちらもできるところが魅力だと思います。例えば、在宅のヘルパー支援ではできるサポートが限られており、制度上でできないことも多くあります。その点、生活訓練の訪問では特に制限がないため、柔軟に対応することができます。特に「いろは」には、精神保健福祉士だけでなく、看護師や作業療法士やピアサポーターも所属しているため、本人のニーズに合わせて多様なサポートを行うことが可能です。また、病状が不安定でまだ通所が難しい方には、まず訪問支援から始めて、自宅内の課題を解決してから徐々に通所支援に繋げることもできます。訪問支援と通所支援のスタッフを分けていないため、訪問支援でスタッフとの関係性ができてから通所支援に切り替えることができるのが特徴と言えると思います。

「いろは」に所属するピアサポーター

「相談支援事業所おうばく」と「いろは」では、兼務でピアサポーターを雇用しています。「いろは」では、実際に訪問支援やプログラムの運営に参加してもらっています。利用者の目線と同じ感覚でサポートに入ってもらえるので、例えば訪問支援では同じような生活課題を共有できたり、グループワークでは同じ感覚で話が深まったりしています。



「いろは」に準備された多様なプログラム

「いろは」では、毎日午前と午後に多様なプログラムを用意しています。プログラムは、その治療効果などをスタッフ間で確認しながら、毎年、年度ごとに更新しています。今年度は、移転に伴って調理プログラムを整え、実際の生活に合わせた調理実習を行っています。具体的には、事前に利用者のミーティングで調理するものを決め、何が必要かを考えます。そして翌週、実際に調理プログラムで調理をして皆で試食し、感想を共有しています。また、若年層の利用者を対象にした居場所支援とし